

地方創生加速化交付金に係る事業評価

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	地域生活環境の向上における若者・女性等活躍推進事業	加速化交付金	39,528,000	指標①	高齢者福祉連携クラウドサービス利用者数	100	名	H32.3	4	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・デジタルネイティブを巻き込んだこの施策は、将来の発展にも期待できる。生活者目線の内容にランディングできるため「住みやすさ」が体感できる。 ・人口増加に直結する事業ではないが、安全・安心した暮らしにかかわり、間接的に人口増加に係る事業である。システムの存在を「直接」分かってもらう仕掛けが今後の課題と考える。	追加等更に発展させる	子育てに必要な情報配信を充実させながら、結婚、妊娠、出産、子育てと子どもを持つ環境の整備と支援を引き続き行う。 医療・介護連携についても、利用者を増やせるよう今後周知活動を行う。
				指標②	多職種(役所、医療、介護)による高齢者福祉(医療・介護)連携クラウドサービス利用者数	100	名	H32.3	39					
				指標③	合計特殊出生率	1.58		H32.3	-					
				指標④	地域子育てクラウドシステム利用者	300	名	H32.3	175					
				指標⑤										
2	笛吹川エクスペリエンス・オブ・ジャパン推進事業	加速化交付金	35,000,000	指標①	河川敷オープンカフェの利用者	15,000	人	H33.3	1,141	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・初年度の取組としては、評価できる。定着・集客には、3回程度の継続は必要と考える。アンケート調査の内容では、利用者から高評価を得ており、利用者ニーズ、出店事業者の収支が見合う内容となるよう再考し実証の継続について検討を行うこと。 ・外国人宿泊への取組は、継続すべきであり、笛吹市ならではの「温泉」「浴衣」「げた」「川で夕涼み」という導線を生かした取組は、県内でも唯一と考えられることから、事業の改善を望む。 ・婚活イベントについては、相手国の情勢が大きく、その開催の可否、継続について根本的に見直すこと。	事業内容の見直し(改善)	河川敷オープンカフェの利用者に高評価を得たものの、固定式の店舗では運営に限度があり、コストもかかることから、可動式の店舗を導入するなど多様な事業展開を検討する必要がある。 婚活については、継続を含め抜本的に見直す。
				指標②	外国人宿泊者数	15	万人/年	H33.3	12.9					
				指標③	婚活イベントでの成婚数	4	組	H33.3	-					
				指標④	商店街への新規商店の出店数	1	件	H33.3	3					
				指標⑤										

外部有識者からの評価

事業効果 … 「地方創生に非常に効果的であった」・「地方創生に相当程度効果があった」・「地方創生に効果があった」・「地方創生に効果がなかった」
事業の評価 … 「総合戦略のKPI達成に有効であった」・「総合戦略のKPI達成に有効とは言えない」

実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針 … 「追加等更に発展させる」・「事業内容の見直し(改善)」・「事業の継続」・「事業の中止」・「予定通り事業終了」